

マナー・プロトコール検定3級 問題例

【問題】 正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

- ① 「ドレスコード」とは招待状に記される服装の基準で、男性には男性の、女性には女性の服装基準がそれぞれ示される。
- ② お見舞いの花は、ユリや水仙など香りの強いものや、「死」や「苦」を連想させるシクラメン、鉢植えの花なども控えたほうがよい。
- ③ 赤ちゃんが誕生してから7日目を「お七夜」と言い、この日までに命名式を行う。市区町村役場に出生届を提出するのもこの日までである。
- ④ 「着る」の尊敬語は「お召しになる」である。
- ⑤ 冬至は一年で最も日照時間が短い日で、この日に柚子湯に入ると邪気を祓い、またカボチャを食べると健康に過ごせるといわれている。
- ⑥ 欧米人とのビジネスでは、初対面の挨拶と握手がすんだら、親しみを表すためお互いにファーストネームで呼び合うようにすることが望ましい。
- ⑦ 欧米では、女性が食事中にワインのビンを持って、グラスに注ぐのは不作法とされている。
- ⑧ 名刺交換のときに相手の名前が読めなかったら、その場で確認しても失礼にはあたらない。
- ⑨ 不祝儀袋の水引は、不幸が重ならないようにという願いを込めて真結びのものを使う。
- ⑩ お客様に「恐れ入りますが、当社まで伺いいただけますか」と来店のご案内をした。
- ⑪ 和食で、尾頭付きの焼き魚が出されたので、表を食べた後、ひっくり返して裏をいただいた。
- ⑫ 一年の初めの日を「元日」、元日の朝を「元旦」という。

<解答>①× ②○ ③× ④○ ⑤○ ⑥× ⑦○ ⑧○ ⑨○ ⑩× ⑪× ⑫○